

令和 8 年第 1 4 回
西条市教育委員会 8 月定例会会議録

西条市教育委員会

令和8年第14回西条市教育委員会 8月定例会会議録

1 開会及び閉会

開会	8月4日(火)	午後4時00分
閉会	同 日	午後5時20分

2 出席及び欠席

出席者	教育長	松井直樹
	教育長職務代理者	福田亜弓
	委 員	磯 恒子
	委 員	鳳 慶洲
	委 員	一色一成

3 会議に出席した者

事務局長	串部佳隆
副局長兼教育総務課長	白石元
学校教育課長	莖田雄一郎
学校教育課指導主幹	山之内知弘
学校政策課長	村上彰彦
学校政策課指導主幹	内田賢一郎
社会教育課長	伊藤敏昭
教育総務課主幹兼	
東部学校給食センター所長	曾我部みを
西条図書館長	越智秀樹
人権共生課副課長	高橋幸宏
専門員兼教育総務係長	山内明久
教育総務担当専門員	首藤栄子

4 会議録署名委員

3番委員	鳳 慶洲
4番委員	一色一成

5 議 案 議案第23号 令和8年度9月補正予算について

6 報 告 事 項 西条市教育委員会外部評価委員会の開催について

7 傍 聴 者 なし

8 議事の概要

教育長 ・ただ今から、令和8年第14回教育委員会8月定例会を開催する。

教育長	・ 本日の会議録署名委員に鳳委員と一色委員を指名する。 ・ 日程第 3 教育長の報告に入り、事務局長に報告を求める。
局長	・ 教育長の事業、実施 1 2 件、予定 9 件、修学旅行・自然の家の実施及び夏祭り・盆踊りの予定について報告する。
教育長	・ この報告について質問等ないか問う。
議委員	・ 4 頁の夏祭り・盆踊りの行事に関して、子どもや若い人たちの参加状況について教えていただきたい。
学校教育課 指導主幹	・ 公民館や学校で開催される行事は、P T A が中心となり子どもたちへ参加を呼び掛け、年々増加傾向にある。P T A の熱心な協力、また、子どもたちは、スポーツ少年団などのコミュニティを通して、互いに参加を呼びかけあいながら参加している。地域が盛り上がるように各方面から参加を促しているの で、子供たちも多く参加しているように思う。
議委員	・ 公民館や連合自治会などが中心となり活発に活動してもらえると地域の子どもたちも参加しやすくなると思う。地域の枠を超えて多くの子どもたちが参加することで行事が盛り上がる と思う。
教育長	・ 他に質問がないか問う。 (意見なし)
教育長	・ 日程第 4 議案に入る。 ・ 議案第 2 3 号 令和 8 年度 9 月補正予算については、市議会 9 月定例会に上程される予定の案件であり、市長による公表前であるため、審議を秘密会とすることに賛成の委員の挙手を求める。 (挙手 全員) ・ 挙手全員により、秘密会とする。 (審議の結果、議案第 2 3 号 令和 8 年度 9 月補正予算について承認される) ・ 秘密会案件の審議を終了する。

教育長

- ・日程第5 その他に入る。
事務局より報告を求める。

(教育総務課長 報告)

教育長

- ・ただ今の説明について質問等ないか問う。

一色委員

・まず、評価の基準についてです。3頁の評価基準にあるAを基準に判断していると思うが、自己評価なので評価の基準が各項目に対して統一されていないところが気になった。例えば、令和11年度の目標値を少しずつ超えればいいという評価もあれば、令和6年度の基準値は上回っているが、令和11年度の目標値を下回っている場合でも、A評価であったりB評価であったりしている。また、令和7年度の単年度目標がわからない。例えば令和7年度の単年度目標は超えることはできなかったが、令和11年度の目標値を超えることはできたなどの評価の仕方もあるのではないかと思う。

二点目ですが、9頁の業務改善の推進については、Bと評価しているが、達成できていないのであればその理由を記入した方が次年度の改善や目標達成につながるので、記入する方がいいのではないかと思う。

また、評価基準の様式を統一したほうが評価される委員の皆様が見やすいのではないかと思う。

教育総務課長

・評価の指標が統一されていないことは、ご指摘のとおりです。これは、総合計画前期基本計画のKPIについては、点検・評価とは別に指標を定めているためで、点検・評価の指標とイコールにはならないためであります。評価委員の方へは、評価指標の達成状況やKPIの令和11年度の目標に対しての今年度の達成率がどのくらいであるか分かるように、今年度は、外部評価委員会時に丁寧に説明したい。

二点目の件については、今後お示しできるように検討していきたい。

教育長

- ・他に質問がないか問う

福田委員

・一点目として、今回B評価、C評価をしている評価については、毎年同じ評価をしているように思う。B評価、C評価の評価基準がもともと高いためこのような評価になるのか分からないが、特に社会教育課の評価が同じになっており、目標となる指標の変更はできないのか。

25頁に関して、前年度は回数を指標として評価していたが、今年度は参加者数を指標としているが、少子化が進んでおり1回当たりの人数が少なくなるのは避けられない状況であり、参加者数を指標としていいのか疑問に思う。

二点目、11頁の課題・問題点の欄で、思考力・判断力・表権力としているが、思考力・判断力・表現力ではないかと思うので訂正していただきたい。

三点目は提案ですが、10頁の今後の課題と取組の方針ですが、水難事故が多くなっているのを命を守る指導に関する指標があってもいいのではないかと思います。

社会教育課長

・ご指摘に関してですが、現状をきちんと把握した上で、実現可能な目標を精査し、設定すべきだと思った。人数が減少しているにもかかわらず、それを設定していることが適切ではなかったもので、今後の課題としたい。

学校教育課長

・11頁の誤字については、修正します。

10頁の命を守る授業については、ライフジャケット着用の授業の実施や先般、各課と連携して西条運動公園総合プールにてライフジャケットの着用体験会を実施した。ライフジャケットの啓発に関する活動は行っているが、成果指標には入っていないので、今後の課題としたい。

教育長

・他に質問がないか問う。

鳳委員

・評価基準の件ですが、5頁の数値を例にとると令和7年度は38.5パーセントで目標値を大きく上回ったということでA++としているが、何年か後にこの目標値が基準値になった場合、この基準値を下回れば同じように増加していても評価が下がる結果になり、非常に評価がみえにくくなるのではないかと思います。外部評価委員会時には、丁寧な説明が必要になるのではないかと。

細かい話になるが、9頁の最後の二行と22頁の最後の三行を改行したほうが読みやすくなると思う。

教育長

・他に質問がないか問う。

礒委員

・13頁の英語力・コミュニケーション力の向上を目指すと思いますが、ALTに指導力の差があるのではないかと思います。ALTの評価はどのようにしているのか。

